



呉トピックス

サツマイモのつる 植え付け体験

学校法人法謙寺学園とくふう幼稚園と、社会福祉法人双葉会徳風保育園の園児165人は6月上旬、学校法人白鳩学園認定こども園しるはとの園児77人は6月中旬に、それぞれ園の管理する圃場でサツマイモの芋づるを植え付けました。

JA広東支店と呉アグリセンター営農販売課の職員から植え方を教わった園児は、クラスごとに分かれて作業。不慣れな園児も手伝ってもらいながら丁寧



▲JA職員に手伝ってもらいながら植え付ける園児ら（呉市広町）

野菜の育て方を学ぶ 呉市立郷原小学校2年生

JAひろしま呉地域本部は5月末、呉市立郷原小学校2年生21人を対象に野菜の出前授業を行いました。

同小学校は5月1日に、ミニトマトやキュウリ、ナス、スイカやカボチャ、ズッキーニなど児童が育てたい野菜の苗をJAで購入。野菜の育つ環境や成長に関心を持ち、親しみを持って大切にもらいたいとプランターでの野菜作りに取り組んでいます。

児童は葉の数や草丈、花や実の数などのほか観察した気づきをまとめ、「花が付かない」「成



▲JA職員の話真剣に聞く児童（呉市郷原町）

に植え付け、自分たちで植えた芋づるに「大きくなあれ」と大きな声で願いを込めました。

長しない」「葉が黄色になった」「脇芽が出てきた」など「困ったこと」を質問。講師になったJA郷原支店と営農販売課の職員は施肥など管理の基本を話したあと、プランターをひとつひとつ見て回り、分かりやすく的確に対処方法などを説明しました。

江田島産ブルーベリー 出荷はじまる

6月初旬、江田島市大柿町にある、ブルーベリーを栽培する石原節夫さん(68)の園地で収穫が始まっています。主にサザンハイ



▲色付きを確認しながら収穫する石原さん

ブッシュ種やラビットアイ種など約60本を栽培。8月中旬ごろまで品種をリレーしながら出荷します。病害虫の防除や剪定、かん水など管理を徹底して安定出荷につなげます。

石原さんは「玉太りや食味もよく仕上がっている。品質の良いブルーベリーを出荷できるように、管理を徹底したい」と話します。

蒲刈スモモ出荷ピーク迎える 蒲刈スモモ生産組合

6月下旬、くれ選果場では蒲刈スモモの出荷がピークを迎えています。主力品種の「サントローザ」のほか、「紅りょうぜん」など一日に約2,000パック(約800kg)を荷受け、出荷します。



▲丁寧に果実を確認しながらパック詰めする石井組合長

蒲刈スモモ生産組合 石井芳清組合長の園地では、約13aで「サントローザ」や「ソルダム」「サマーエンジェル」などを栽培。ピーク時には果実の品温に注意しながら、早朝から8時までと夕方からの2回に分けて収穫します。午前中に収穫した果実は翌日にパック詰めして出荷します。

作業場では、鮮度の証である「果粉」を落とさないよう手袋をするなど細心の注意を払い、色や玉揃いに気をつけてパック詰めをしています。

なるほどえ〜のう！ 営農情報

落葉果樹

イチジク

▽新梢管理

枝が密生していると、葉によって果実の表面にスレ傷が発生したり、日照不足による着色不良果が増えるなど、外観品位が低下します。枝が混んでいる所は枝抜きを行ないましょう。

▽かん水

夏季の高温乾燥は、果実肥大を鈍らせ落葉を引き起こすこともあります。晴天が続くようであればかん水を行ないます。

▽収穫

いよいよ、今月から収穫が始まります。

イチジクは収穫適期が短く、収穫が早すぎると糖度の低い果実となり、逆に収穫が遅れると過熟となります。

日持ちの悪い果実となりますので注意が必要です。
適期採取に努め、果実温度の低い早朝に行ないましょう。
また、降雨直後に収穫した果実は、カビや腐敗が発生しやすくなるので注意が必要です。

カキ

▽強勢樹のせん定

樹勢の強い樹は、枝を切り戻しても、幾度となく強勢な枝が反発し発生すると思えます。

そのような樹は、盆過ぎから9月上旬にかけてせん定を行ないます。9月中旬頃から、冬に向けて樹体内に養分を貯蔵する時期となります。

貯蔵開始する前に葉数を減らすことで、貯蔵養分を少なくし、樹勢を落ち着きやすくなります。

せん定時期が、早くても遅くても効果を発揮しません。

適期にせん定を行ないます。

▽台風後の対策

先月までは摘果時期でしたが適正量まで摘果できましたでしょうか？夏から秋にかけて台風襲来の時期となります。

台風の影響により運悪く落葉した場合、風による生傷などを積極的に摘果しましう。

樹勢が弱つたと思い、肥料を施用したら、根がますます傷みます。

カキは肥料よりも水が必要です。他の作物と同様の考えで肥培管理しないように注意しましう。

モモ

▽収穫

収穫は果実の着色と熟度を見ながら行ない、へた周辺の果皮色の抜け具合と果肉の硬さで判断します。

明け方の涼しい時間帯に行ない、収穫した果実は、風通しの良い涼しい場所に保管します。

収穫期が高温で推移する時は、熟期が進むため取り遅れないように注意しましう。

また、夜温が高く推移する時は、果肉先熟型（着色が遅れ、果肉が先に仕上がる症状）になりやすいた

め、果肉の硬さに注意しながら収穫しましう。

夏にかん水したいものの、十分な水源が確保できない場合は、夕方に株元へかん水を行ないましう。

この方法は、やむを得ない場合の方法なので、可能な限り水源の確保と土壌水分の保持に努めてください。

植物だけでなく、人も水分補給が必要です。暑い時間帯の長時間作業は避け、涼しい場所で休憩と水分補給を頻繁に行ない、熱中症にならないように気を付けましう。

MEMO

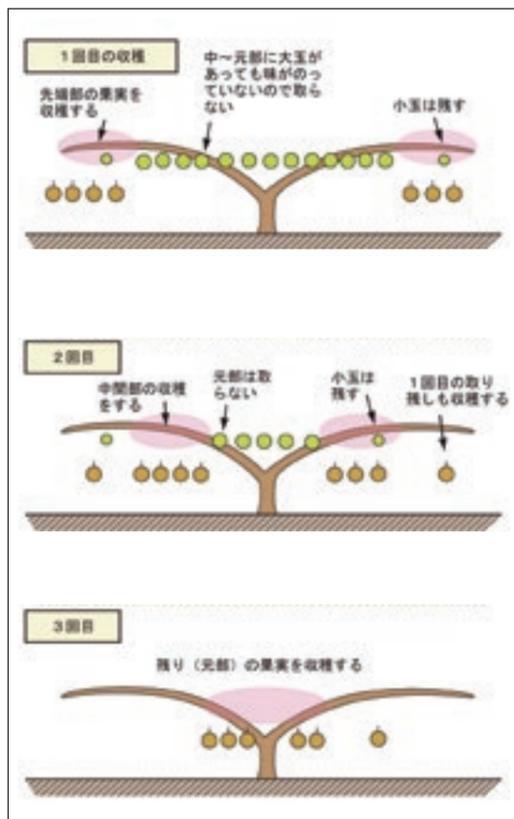



図1 区分収穫の考え方 (因伯の果樹より)

ナシ

▽収穫

早く熟れる樹から収穫します。

同じ園の中でも樹勢の強弱、日照の関係などで熟期の相違があります。

また、1本の樹の中での熟れ方は、樹の先端部が早く主幹に近い部分が遅れて熟れ、側枝の中では、樹齢の古い枝が早く熟れます。

このようなことから、一度に収穫せず、3回程度の分割採取を行ないましう。(図1)

種まきと育苗

野菜の初期の栽培方法には、畑に直接まく「直まき」とポットやセルトレイに種をまき、苗を育てる「育苗」があります。野菜の種類によって使い分けをしましう。

・直まき (おススメ野菜: ダイコン、ニンジンなどの根菜、ホウレンソウなどの葉菜)

直まきには、一定の間隔ごとに粒ずつ種をまく「点まき」と一定の幅にすじ(まき溝)をつけ種をまく「条まき(すじ播きともいう)があります。

・育苗 (おススメ野菜: キャベツ・ハクサイ・ブロッコリー・レタスなど)

育苗の方法には、畑にまき床を作り育苗する方法と、ポットやセルト

レイで育苗する方法があります。今回はポットやセルトレイでの育苗をピックアップします。
作りたい野菜の苗の量が少ない場合はポット、多い場合はセルトレイをお勧めします。
育苗に使用する土は、専用の種まき用の培土を使用しましう。育苗に適した調整をしますので便利です！
ポット育苗: 6〜7.5cmのポットに種を3〜4粒まき、本葉2枚の頃に間引いて1本立ちにします。本葉5〜6枚の頃が定植適期です。
セルトレイ育苗: 葉菜類では128穴のものが適当です。1穴に1粒まき、本葉3〜4枚の頃が定植適期です。

家庭菜園

8月から初秋にかけて、キャベツや白菜、ダイコンやニンジン等、秋冬どり野菜の種まき(播種)や苗の定植の時期です。

種をまく際は種袋に記載の「まきどき・収穫期」の期間をしっかりと守りましう。また、苗を植えるときは定植適期を逃さないように、購入苗を植えるときはあまり日を空けずに定植しましう。

播き時、植え時がずれてしまうと上手く育たなくなるので要注意です。

続いて秋冬どり野菜の種まきや育苗について紹介します。

〜ポット育苗の方法とポイント〜

種まきには「たねまき培土」や「育苗用培土」等を用いると便利です！

寒冷紗や遮光ネットで日よけ対策！気温の上昇を緩和させましう！
防虫ネットで害虫の食害を防ぎましう！



主な秋冬どり野菜の種まきの適期は暑い夏場に集中してします。 発芽や育苗が失敗しないようにポイントを押さえましう。

① 発芽はしっかりさせましう！	種が発芽するためには、適度な水分と温度、空気(酸素)です。また、種子の中には光に影響を受けるものもあます。夏まきでは、高温や水不足、強雨や豪雨などで土の表面が固まり空気が取り込めないなど様々な理由で発芽不良になることがあます。適度な遮光で温度や地温の上昇を防いだり、水やり、覆土なども適切に行ないましう。
② 水切れさせないようにしましう！	夏の種まきでは、高温と強い日差しで苗や土からの水分の蒸発散が多いため、発芽した苗が水不足でしおれてしまふことがあます。強い日差しの遮光や水分管理に注意しましう。
③ 苗を徒長させないようにしましう！	夏季は夜温も高いので、夜間に水分や肥料分が多いと苗が徒長(茎などが間延びしてヒョロヒョロに育った状態)してしまふ。夕方には土の表面が乾くような水分管理をしましう。間引きの遅れも徒長の原因となるので適期行ないましう。
④ 害虫の被害を防ぎましう！	高温期にはアオムシやシンクイムシ(ハイマダラノメイガ)等の食害が発生します。発芽したばかりの柔らかい莖葉を守るためにも、防虫ネットの被覆などによる対策を行ないましう。

上手く発芽や育苗をして、秋冬野菜の栽培を楽しみましう。

令和4年度 呉農業協同組合 組合長賞 授与式

6月23日、令和4年度に優秀な実績をあげられた店舗、渉外担当者及び窓口担当者に呉農業協同組合組合長賞として最優秀店舗賞、最優秀賞、優秀賞、優績賞が授与されました。

受賞された店舗、総合渉外担当者、窓口担当者は右記のとおりです。(敬称略)



優績店舗表彰

賞名	支店名
最優秀店舗	倉橋東支店

優績総合渉外担当者表彰

賞名	所属支店	氏名	現所属支店
最優秀賞	広西支店	丸山 覚博	昭和支店
	江田島支店	大段 俊樹	江田島支店
	広東支店	川上 直晃	広東支店
	昭和支店	岡本 拓也	広西支店
優秀賞	高須支店	牧 正純	音戸支店
	本店営業課	城 洋	呉支店
	広東支店	植村 勇斗	呉支店
	本店営業課	見世 浩一	音戸支店
	広東支店	中村 雪風	広東支店
	大古支店	筧本 元記	倉橋支店
	倉橋支店	黒飛 真二	倉橋支店
	三高支店	後藤 竜矢	三高支店
優績賞	中町支店	松場 健	中町支店

信用事業優績窓口担当者表彰

賞名	所属支店	氏名	現所属支店
最優秀賞	江田島支店	中野亜紀子	鹿川支店
優秀賞	大古支店	福島さくら	大古支店
	鹿川支店	崎川 志織	江田島支店

日本農業新聞優績通信員表彰 最優秀賞受賞

5月中旬、令和4年度日本農業新聞優績表彰がJAビル（広島市）で行なわれ、呉地域本部統括部総務課の折手桂司郎職員が最優秀賞を受賞しました。

この表彰は、JA広島中央会が日本農業新聞への記事掲載にあたり特に活躍が認められた通信員に対して行ないます。

呉地域本部において大下俊哉常務理事から表彰状が授与されました。



▲大下常務から表彰状を受け取る折手職員⑥

税務相談

呉地域本部では税務相談を行なっています。

税に関する様々なご相談等に対応させていただきますので、ぜひご利用ください。



場 所	呉支店 2階	中町支店
相 談 日	第2・第4金曜日 午前10時～午後4時	第1・第3金曜日 午前9時30分～午後3時30分
お 問 い 合 せ	0823-25-1200 (統括部総務課)	0823-45-2848 (中町支店)

※上記相談日が急遽変更となる場合がございますので、事前にお問い合わせください。